

住み慣れたまちで、あなたらしい生活を 地域包括支援センターが応援します！

いつまでも、住み慣れたまちで安心して暮らし続けたい。そんな想いを支えるのが「地域包括支援センター」です。介護や健康、暮らしの悩みまで、どこに相談したら良いか迷ったとき、まず頼っていただきたい、地域の相談窓口です。

今回の特集では、その役割や実際に寄せられる声を通して、地域包括支援センターを紹介します。

問い合わせ 長寿介護課包括支援係（プラザけやき内 ☎37-1120）

体の衰え・物忘れ



- ☐ 階段の移動がづらくなった
- ☐ 散歩で息切れするようになった
- ☐ 忘れっぽくなった

友達・集いの場



- ☐ 同世代の友だちがほしい
- ☐ 地域の活動の場所が知りたい

金銭管理



- ☐ お金の管理に自信がない
- ☐ 最近よく通帳をなくす
- ☐ 詐欺にあわないか心配

介護予防



- ☐ 将来のために今から介護予防したい
- ☐ 認知症が進まないか心配

家族のこと

- ☐ ひとり暮らしの親が心配
- ☐ 親の物忘れが気になり始めた
- ☐ 病状の変化や介護度の変化にどう対応すればいいかわからない



近所の高齢者のこと

- ☐ 近所から大きな物音や怒鳴り声が聞こえる
- ☐ 最近顔を見なくなった高齢者がいるが、ひとり暮らしで心配



こんなこと、悩んでいませんか？

センターの役割

1 総合相談支援業務

さまざまな相談や悩みにお応えします

高齢者の皆さんの相談窓口として、「ひとり暮らしで不安がある」「体の衰えを感じてきた」などの介護が必要になる前から、さまざまな相談に対応します。ご家族や近隣の方々からの相談にも応え、情報提供したり、適切なサービスにつなげたりします。



2 介護予防 ケアマネジメント業務

高齢者の状態にあった自立支援を行います

要支援と認定された人のケアプランを作成し、介護予防サービスの紹介や支援を行います。また、今後支援や介護が必要となる可能性が高い人が自立した生活を継続できるよう、今の状態にあった健康づくりや介護予防のお手伝いをします。

